

指定研究賞受賞者

2024 年

第 1 回指定研究賞

『癌の手術に電気メスを用いる場合、焼灼により癌細胞を死滅さすという利点がある反面、された部位は癌細胞が着床しやすくなるのではないかという懸念があり、これを動物実験にて検討して頂く』

1984.11.15(1985.11.17 発表)

- * 研究課題・・・悪性腫瘍に対するレーザー手術の有効性に関する研究
研究代表者・・・佐野文男（北海道大学第 1 外科）
- * 研究課題・・・癌手術と電気メス、レーザーメス
研究代表者・・・小野美貴子（杏林大学第 1 外科）

第 2 回指定研究賞

『人工（又は代用）材料による組織欠損の補填に関する研究』

1985.11.17(1986.11.29 発表)

- * 研究課題・・・有茎筋弁からの血行を利用した遊離腸管移植法の研究
研究代表者・・・川原英之（産業医科大学第 2 外科）
- * 研究課題・・・頸胸部気管欠損の胸鎖乳突筋有茎弁による補填の試み
研究代表者・・・沢田英明（山口大学第 2 外科）

第 3 回指定研究賞

『腸管再癒着防止に関する基礎的研究』

1987.6.27(1988.6.4 発表)

- * 研究課題・・・親水性高分子化合物(ポリマー)を用いての腸管再癒着防止の研究
研究代表者・・・五関謹秀（東京医科歯科大学第 1 外科）

第 4 回指定研究賞

『新しい消化管吻合法』

1988.6.4(1989.5.27 発表)

- * 研究課題・・・外翻器械吻合器による消化管吻合術
研究代表者・・・久保田仁（名古屋大学第 1 外科）

第 5 回指定研究賞

『小口径血管吻合法の改良に関する研究』

1989.11.25(1990.12.8 発表)

- * 研究課題・・・小口径血管吻合における吸収性モノフィラメント縫合糸の有用性
研究代表者・・・岩崎 甫（山梨医科大学第 2 外科）
- * 研究課題・・・各種レーザーを用いた小口径血管吻合法の比較検討
研究代表者・・・黒川良望（東北大学第 2 外科）

※『bench surgery に関する研究』

該当者なし 1990.12.8

※『吸収糸の生体内反応並びに臨床的立場からみた適応の決定』

応募者なし 1991.11.2

第6回指定研究賞

『縫合糸の生体内反応並びに臨床的立場からみた適応の決定』

1992.12.5(1993.11.20 発表)

* 研究課題・・・縫合糸の生体内反応並びに臨床的立場からみた適応の決定

研究代表者・・・川原克信（長崎大学第1外科）

* 研究課題・・・胆、膵外科領域における各種縫合糸の生体内反応並びに適応の決定

研究代表者・・・山本正博（神戸大学第1外科）

第7回指定研究賞

『手術侵襲の定量化』

1994.5.21(1995.5.20 発表)

* 研究課題・・・手術侵襲の定量化－その解析と対策－

研究代表者・・・標葉隆三郎（東北大学第2外科）

* 研究課題・・・手術侵襲度からみた各種血中サイトカイン濃度の術後経時的変動の臨床的意義

研究代表者・・・村田 厚夫（大阪大学第2外科）

第8回指定研究賞

『腸管癒着，その機序，病態並びに予防と対策』

1995.5.20(1996.5.18 発表)

* 研究課題・・・細胞増殖因子の腸管癒着に及ぼす影響とその制御

研究代表者・・・松岡 順治（岡山大学第1外科）

第9回指定研究賞

『癌手術における手術操作と術中癌細胞散布の問題』

1996.5.18(1997.5.24 発表)

* 研究課題・・・癌手術における手術操作と術中癌細胞散布の問題

研究代表者・・・林 尚子（熊本大学第2外科）

第10回指定研究賞

『鏡視下手術の新しい工夫（手術、器械）』

1997.5.24(1998.5.30 発表)

* 研究課題・・・鏡視下手術における鉗子型およびピストル型直針縫合器の開発

研究代表者・・・近藤 啓史（国立札幌病院北海道がんセンター）

第11回指定研究賞

『縫合・結紮糸の選び方と使い方』

1998.5.30(1999.5.8 発表)

* 研究課題・・・Nd:YAG レーザーパルスレーザーによる腸管吻合法と従来法との比較

研究代表者・・・田中 克幸（埼玉医科大学第2外科）

第 12 回指定研究賞

『有効なドレナージのための工夫』

1999.5.8(2000.5.13 発表)

- * 研究課題・・・汚染源が排除できない重症腹膜炎に対する二方向性腹腔開放ドレナージとその評価
- 研究代表者・・・小野寺 久（京都大学腫瘍外科）

第 13 回指定研究賞

『癌病態を配慮した鏡視下手術手技の工夫』

2004.5.15(2005.5.21 発表)

- * 研究課題・・・MR 空間における内視鏡外科手術－肝腫瘍に対する低侵襲治療－
- 研究代表者・・・来見 良誠（滋賀医科大学外科学講座）

第 14 回指定研究賞

『臍頭十二指腸切除後の再建方法の諸問題』

2005.5.21(2006.5.20 発表)

- * 研究課題・・・再生医療を用いた臍消化管吻合術の基礎的研究生体修復材料による安全で確実な吻合手技を目指して
- 研究代表者・・・相本 隆幸（日本医科大学第 1 外科）

第 15 回指定研究賞

『SSI(Surgical Site Infection)をなくすための工夫』

2006.5.20(2007.5.19 発表)

- * 研究課題・・・大腸切除において腹腔鏡下手術は開腹術と比較して腹腔内細菌汚染が少ないか？－腹腔内遺残殺菌についての検討－
- 研究代表者・・・斉田 芳久（東邦大学医療センター大橋病院第三外科）

第 16 回指定研究賞

『Salvage surgery(Neoadjuvant therapy 後も含む)における手術手技』

2007.5.19(2008.5.10 発表)

- * 研究課題・・・術前化学療法を併用した大腸癌両葉多発肝転移に対する門脈塞栓術併用多段階肝切除
- 研究代表者・・・田中 邦也（横浜市立大学消化器病態外科学）

第 17 回指定研究賞

『術中癌細胞撒布と手術操作、その検証』

2008.5.10(2009.5.16 発表)

- * 研究課題・・・胃癌センチネルリンパ節生検におけるリンパ管内の癌細胞検出とその臨床的意義の検討
- 研究代表者・・・竹内 裕也（慶應義塾大学外科）

第 18 回指定研究賞

『内臓脂肪量による手術難易度の評価と手術手技の工夫』

2009.5.15(2010.5.22 発表)

- * 研究課題・・・内臓脂肪型肥満患者における膵頭十二指腸切除術術後呼吸器合併症減少の対策
- 研究代表者・・・清水 敦史（和歌山県立医科大学第二外科学教室）

第 19 回指定研究賞

『高齢者癌（80 歳以上）に対する手術適応と術式の選択』

2010.5.22(2011.9.10 発表)

- * 研究課題・・・80 歳以上の高齢者に対する肝切除後の肝再生に関する研究
- 研究代表者・・・調 憲（九州大学消化器・総合外科）

第 20 回指定研究賞

『新しい止血凝固切開装置(エネルギーデバイス)の功罪』

2011.9.9(2012.5.26 発表)

- * 研究課題・・・止血凝固切開装置(エネルギーデバイス)の熱拡散と神経障害予防に関する研究
- 研究代表者・・・池田 哲夫（九州大学大学院消化器総合外科）

第 21 回指定研究賞

『機能温存と再建手術の開発と検証』

2012.5.25(2013.5.18 発表)

- * 研究課題・・・in situ Tissue Engineering による肛門機能再生に関する研究
- 研究代表者・・・西澤祐吏（京都大学再生医科学研究所 臓器再建応用分野）

第 22 回指定研究賞

『吻合法の新しい工夫』

2013.5.17(2014.5.17 発表)

- * 研究課題・・・幽門再建術(PRG)の胃切除術後残胃炎およびダンピング症状の改善効果に関する研究
- 研究代表者・・・保谷 芳行（東京慈恵会医科大学附属第三病院外科）

第 23 回指定研究賞

『瘻孔の予防と治療』

2014.5.17(2015.5.16 発表)

- * 研究課題・・・術後難治性皮膚瘻に対する自己脂肪組織由来間葉系前駆細胞移植療法の臨床応用
- 研究代表者・・・水島 恒和（大阪大学消化器外科）

第 24 回指定研究賞

『創傷治癒を念頭に置いた手術手技の検討』

2015.5.15(2016.5.21 発表)

- * 研究課題・・・食道再建術における再建臓器の動脈血流・静脈還流の定量化と吻合部被覆大網血流の評価
- 研究代表者・・・佐伯 浩司（九州大学大学院 消化器・総合外科）

第 25 回指定研究賞

『外科医の適正評価、技術評価に関する研究』

2016.5.20(2017.5.27 発表)

* 研究課題・・・鉗子操作の 3 次元軌跡解析を用いた内視鏡外科手術の適正評価法の開発と技術評価が学習効果に及ぼす影響に関する研究

研究代表者・・・金治 新悟(神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野)

第 26 回指定研究賞

『腹膜播種に対する集学的治療における外科の役割』

2017.5.26(2018.5.12 発表)

* 研究課題・・・胃癌の腹膜播種メカニズムを考慮した新しい治療法の開発

研究代表者・・・沖 英次(九州大学大学院 消化器・総合外科)

第 27 回指定研究賞

『隣接臓器浸潤腫瘍の外科的治療に於ける安全性向上』

2018.5.11(2019.5.25 発表)

* 研究課題・・・下大静脈への浸潤腫瘍に対するダブルバルーン付 CV カテーテルを用いた安全な手術手技の開発

研究代表者・・・岩下 幸雄(大分大学医学部 消化器・小児外科)

第 28 回指定研究賞

『ロボット手術を安全に導入、施行するための工夫』

2019.5.24(2020.10.10 発表)

* 研究課題・・・ロボット支援下手術において死角トラブルを防止するカメラ付きトロカールの開発と有用性に関する研究

研究代表者・・・西澤 祐吏(国立がん研究センター東病院 大腸外科)

第 29 回指定研究賞

『吻合器、縫合器の新しい応用』

2020.10.9 (2021.5.15 発表)

* 研究課題・・・自動縫合器を用いた会陰式脱出腸管切除術の安全性に関する研究

研究代表者・・・西森 英史(北海道都病院)

第 30 回指定研究賞

『ナビゲーション手術の臨床評価』

2021.5.14 (2022.5.21 発表)

* 研究課題・・・OSNA 法による大腸癌に対する ICG ガイド下リンパ節郭清の臨床評価のための pilot study

研究代表者・・・高橋 秀和(大阪大学 消化器外科)

第 31 回指定研究賞

『手術手技における AI の活用』

2022.5.21 (2023.5.13 発表)

* 研究課題・・・エキスパートに匹敵する膵臓識別能をもつ AI モデルの開発

研究代表者・・・中村 達郎（兵庫医科大学）

第 32 回指定研究賞

『手術教育法の開発とその評価』

2023.5.13（2024.6.8 発表）

* 研究課題・・・3D モデルを用いた気管支スリーブ切除トレーニングの多施設前向き研究

研究代表者・・・橋本 浩平（がん研有明病院）